

平成28年度政策動向

(石油コンビナート等災害対策関連予算案)

平成28年3月23日
消 防 庁

○ドラゴンハイパー・コマンドユニットの充実等(エネルギー・産業基盤災害対策)

- ① 大規模地震等による石油コンビナート事故等のエネルギー・産業基盤災害に的確に対応するため、緊急消防援助隊に創設した「ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)」を平成30年度までに12部隊配備(「日本再興戦略」改訂2015閣議決定(H27.6.30))。
- ② 即応部隊の中核となるエネルギー・産業基盤災害対応型消防水利システムを配備するとともに、エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットを研究開発。

H28予算額(案) 6.6億円(H27当初6.4億円)

① エネルギー・産業基盤災害対応型消防水利システムの配備 4.0億円(2.0億円×2システム)

○ 水利システム構成(2台1組)

大型放水砲車

大容量放水及び大口径ホース1km延長

大容量送水ポンプ車

小型強力ポンプを搭載し、海・河川等の水利から大容量送水

○ 平成30年度までに12部隊配備(平成27年度までに4部隊を配備)



大型放水砲車

大容量送水ポンプ車

② エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットの研究開発 2.6億円

○ 情報収集・放水ロボットを研究開発するとともに、順次、実用化・高度化

- ・ G空間×ICTを活用し、精度の高い遠隔操作を実現
- ・ 人が近づけない現場でも陸上と空から近接し、消防職員の安全を確保

○ 平成26年度から研究開発に着手。平成30年度完成を目指す

情報収集ロボット



放水ロボット



2014

【1年目】完了
詳細設計

2015

【2年目】実施
要素技術の試作

2016

【3年目】
単体試作機の完成

2017

【4年目】
検証及び改良

2018

【5年目】
ロボット完成

2019~2020

高度化